

# 沖縄健康医療拠点「琉球大学医学部及び病院」整備に伴う市民説明会 新病院の機能等について



開催日：令和5年2月8日（水）

場所：宜野湾市民会館1階 大ホール

## 沖縄健康医療拠点構想（協議会報告）

内閣府主催「西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会」報告  
（平成29年4月26日）より抜粋

### 国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点について

（西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会報告）

#### 沖縄の医療の国際性

- ・沖縄の医療は戦後、米国の協力の下に整備
- ・インバウンドが増加し感染症流入のリスク

#### 広域・多数の島からなる沖縄の医療の特性

- ・離島及びへき地での医療体制確保が必要
- ・遺伝学的に特徴的な体質や疾病構造が存在

西普天間住宅地区跡地に琉大医学部・病院を移設し、沖縄の医療体制の中核となる医療拠点を整備

#### ①高度医療・研究機能の拡充

- バイオバンク
  - ・沖縄県民のゲノムの生体情報と医療情報システムを融合したバイオインフォメーションバンクを整備
- 生物資源ライブラリ
  - ・創薬研究への橋渡しとなる生物資源を保管・活用
- 感染症対策
  - ・感染症対策の研究・臨床機能を拡充
- 創薬開発、医工連携

※OIST等の国内外の関係機関と連携して実施

#### ②地域医療水準の向上

- 県内医療機関への医師派遣機能強化
- がんセンターの機能強化 等

#### ③国際研究交流、医療人材育成

- 海外大学、研究機関等との共同研究
- 高度医療や地域医療に必要な人材育成

- ・バイオ産業の基盤を整備し、創薬開発等を通じて**沖縄振興へ貢献**
- ・沖縄の公衆衛生、地域医療水準の向上等を通じて「**長寿県沖縄**」の復活
- ・感染症対策等を通じて**国際保健（グローバル・ヘルス）への貢献**

# 琉球大学医学部及び病院移転構想

## 医学部および同附属病院の構想

### 移転構想

#### 国際化

～未来を拓く国際性豊かな医療拠点～

**国際水準の教育と医療の実現、  
また研究体制の構築に向け、国際医療拠点に  
相応しい機能と設備の整備を進めます。**

- ◆医学部と附属病院の国際認証の取得
- ◆国内外の大学、医療機関、企業等との積極的な連携
- ◆国際医療拠点に相応しい病院環境の整備
- ◆保育園、授乳室、障がい者対応施設等のダイバーシティ（多様性）に対応したアメニティの充実

#### 人材育成

～国際的な医療人材の育成と交流拠点の形成～

**ニーズ柔軟に対応でき、また国際的に通用する  
教育システムの構築を進めるとともに、  
国内外大学等との連携体制の強化を図ります。**

- ◆グローバルな視野を持った医療者、医学研究者の育成
- ◆研究マインドを身に付けさせるための学部段階からの研究室配属
- ◆看護部と保健学科の連携による高度実践看護師の育成
- ◆海外大学と連携したクリニカルクラークシップ（臨床参加型実習）の充実
- ◆附属病院内における教育スペースの確保

#### 医療水準の向上

～高度医療の提供による拠点形成～

**中核病院としてがんや救急医療、また  
移植医療等への対応強化を図るとともに、災害対応や  
遠隔診療等の更なる充実により医療水準の向上を目指します。**

- ◆化学療法や放射線治療分野の充実によるがん治療成績の向上
- ◆高度救命救急センターの設置
- ◆生体肝移植等の移植医療の充実
- ◆先進的医療に対応した手術室の充実
- ◆日帰り手術、光学診療等の充実による低侵襲治療の推進
- ◆沖縄県地域医療支援センターを拠点とした離島・へき地医療の充実

#### 先端研究・産業振興

～世界に誇れる医学研究拠点の形成と産業振興～

**沖縄特有の環境や資源を活かしつつ、最先端分野の  
研究の充実を図るとともに、人材が集まる組織の枠を  
超えた研究組織の構築を目指します。**

- ◆先端医学研究センターを中心とした創薬等の最先端分野の研究
- ◆医工連携による医療機器等の開発
- ◆品、企業、近隣大学、研究機関から優秀な人材が集まる仕組みの構築
- ◆産業振興による地域の活性化
- ◆国内・国際学会開催による来訪者の増加



琉球大学  
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

## 沖縄健康医療拠点形成に向けた取組

### 医療水準の向上

#### (1) がんセンターの機能強化

- ・移転後、通院でがん化学療法を受けられる化学療法室を増室

#### (2) 高度救命救急センターの整備

- ・救急部を増床（6床→20床）し、特殊疾患の患者への救命医療を確保
- ・移転後速やかに高度救命救急センターの指定を取得予定
- ・ヘリポート設置（離島を含む沖縄県全域の救命医療体制の充実）

#### (3) 災害対応

- ・移転後、基幹災害拠点病院の指定を取得予定（現病院は地域災害拠点病院）
- ・災害時における迅速な医療活動及び住民の避難や食料の備蓄を行う

#### (4) 医師確保派遣機能

- ・沖縄県や医師会と連携し、県全体で医師確保派遣体制を構築



琉球大学  
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS



# 沖縄健康医療拠点形成に向けた取組

高度医療の導入・実施

## (1) 再生医療の実施

- ・脂肪幹細胞を用いた臨床研究  
⇒日本初の顔面への培養脂肪幹細胞移植  
⇒包括的高度慢性下肢虚血に対する日本初の治験

## (2) ニューロリハビリの新しい治療技術創出

- ・脊髄・脳幹損傷等重篤な四肢マヒ患者にも対応出来る先端リハビリを開発

## (3) 次世代型スマート手術室

- ・新病院における iMRI併設画像誘導手術室の実装の実現

## (4) 移植医療の充実

- ・本院初の生体肝移植を実施 (R2.3)
- ・造血幹細胞移植医療体制整備事業を実施 (R2)
- ・膵臓移植施設の認定 (R3)

## (5) 各種インターベンションの実施

- ・質の高いカテーテル治療の実践
- ・県内唯一の経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) の施設認定を受け (H28)、ハートチームで手術を実施。



# 沖縄健康医療拠点形成に向けた取組

メディカルパートナー協定



2020年10月  
琉球ゴールデンキングス × 琉球大学病院 提携



本院では、引き続きスポーツ医学を推進します。



# 沖縄健康医療拠点形成に向けた取組

## 宜野湾市民の健康づくりを応援 ～ウォーカブルなまちづくりへの協力～

・全国では医療機関が移転を契機として地元の自治体と連携して市民の健康増進に取り組む事例が出てきた

・平成27年度、琉球大学と宜野湾市は包括連携協定を締結  
目的の一つとして「**健康都市としてのまちづくりの推進を図ること**」を明記

・本学は沖縄健康医療拠点の整備を通して西普天間住宅地区が宜野湾市民の健康づくりの拠点として活用されるように支援していきたい

・歩くことが楽しくなるような歩道の整備などに宜野湾市と連携して取り組み  
西普天間住宅地区を健康まちづくりのモデル地区としたい  
・1964年に宜野湾市が制定した『健康都市宣言』にもう一度光を当てたい

